

平成 28 年度第 1 回習志野市長期計画審議会 議事録

日 時：平成 28 年 8 月 1 日（月） 午後 1 時 30 分から 3 時 00 分まで

場 所：習志野市役所仮庁舎 4 階 委員会室

委員出席者：廣田委員（会長）、清水委員（副会長）、木村委員、布施委員、荒木委員、  
佐々木委員、金子委員、鯨井委員、酒井委員、橋本委員、海寶委員、  
細川委員、越智委員、小池委員  
（欠席：大塚委員）

事務局出席者：眞殿政策経営部長、鈴木政策経営部次長、真田総合政策課長、奥山係長、  
伊藤主任主事、渡部主任主事、徳岡主任主事

議 題：1 報告事項

- (1) 習志野市前期第 1 次実施計画の進捗状況について
- (2) 習志野市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
第 1 次アクションプランの進捗状況について
- (3) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金  
（地方創生先行型）の実績評価について
- (4) 習志野市前期第 2 次実施計画の策定について

2 その他

議 事 録：

開 会	
廣田会長	<p>ただいまから、平成 28 年度第 1 回習志野市長期計画審議会を開会いたします。</p> <p>本審議会は習志野市長期計画審議会条例第 5 条第 2 項の規定によりまして、委員の過半数の出席が要件となっておりますが、本日は 14 名の出席をいただいておりますので、本審議会は成立いたしております。</p> <p>本日の議事録につきましては、事務局にて調整し、会長の決裁をもって、作成することとさせていただきます。</p> <p>また、会議に先立ちまして、本審議会の公開・非公開につきましては、平成 17 年度第 1 回長期計画審議会において、原則公開と決したところであります。</p> <p>本日の傍聴者は 2 名となりましたので、御承知おきください。 それでは、傍聴者の入室を許可してよろしいでしょうか。</p> <p>&lt;一同了承&gt;</p>

	<p>それでは、傍聴者の入室を許可いたします。傍聴者の皆様におかれましては、会議を傍聴するにあたり、注意事項をお守りいただきますようお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;"><b>報告事項(1) 習志野市前期第1次実施計画の進捗状況について</b></p> <p>それでは議題に入ります。報告事項としまして、「(1) 習志野市前期第1次実施計画の進捗状況」について、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>それでは、報告事項の1番、習志野市前期第1次実施計画の進捗状況について、御説明させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">＜資料1に基づき事務局より説明＞</p> <p>廣田会長      ただいま、総合政策課長から順調に進捗している指標と目標値を下回った指標の主なものについて御説明いただきました。ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御意見、御質問等がありましたらお願いいたします。御発言の際は、挙手をお願いいたします。布施委員お願いいたします。</p> <p>布施委員      施策番号2-1-5の「交通安全の推進」でございます。26年度が約1万7,500人、25年度が約1万1,000人、27年度が1万1,980人で、平成26年度だけが約1万7,500人と非常に多いが、このことに原因というのがありますか。</p> <p>総合政策課長      このことにつきましては詳細な調査をしておりませんので、担当に確認させていただきます。</p> <p>布施委員      交通安全なので学校がメインだとは思いますが、大体25年と27年はそういった形で見ているのかなと思うんですけど、26年度だけ6,000人くらい多いというのは何かしらあるのではないかなと思うので、後ほど教えていただければと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>廣田会長      後ほどで結構ですので、よろしく申し上げます。</p> <p>総合政策課長      確認をさせていただきます。</p>
--	--

清水委員	<p>施策番号3-1-1の「子育て・子育ての支援」の保育所受け入れ児童数については、先ほど、実績値が26年度で2,202人ということで目標値を達成し、順調な進捗状況にあるとの御説明がありました。平成30年度までに待機児童ゼロを目指すという記載もあり、これからはかなり大変だと思います。アクションプランでは平成31年度の目標値が3,123人とあるので、これから数年間で900人近くの待機児童解消を図らなければならないということで、これからは正念場になってくるかと思いますが、そのような中で解消していく一つの柱として、習志野市が全国に先駆けて、こども園整備というものを進めてきました。</p> <p>各中学校区に一つずつ、こども園をつくるということですが、こちらの達成の状況と今後の見通しについて、簡単に御説明願います。</p>
総合政策課長	<p>こども園につきましては、現在、東習志野こども園、杉の子こども園、袖ヶ浦こども園の3園が市内にございます。今後の計画といたしまして、今回のこども園と幼稚園の再編計画の中で、大久保こども園を立ち上げる予定をさせていただいております。さらにその後の計画では各中学校区に1園ということで想定しておりますので、その方向で進んでいくかと思っております。ただ、1点、国の法律が変わりまして、こども園というものの性質が、従前のこども園が厚生労働省と文部科学省という2つの権限がかかるようなくくりであったものが、今回一つの所管という形で形成が変わっておりますので、民間によるこども園ということも、今後の市内の子育て支援施設の位置づけの中に入ってくると想定されるところでございますので、3期計画においては、そういったことを考慮した形での計画になるものと考えております。</p>
海寶委員	<p>一つだけ教えていただきたいのですが、施策番号1-1-3、「高齢者支援の推進」ということで、御存じのように、少子高齢化で高齢者が増えるという時代でございますので、当然要介護の人が増え、これからは予防の時代に入っていくと思っております。65歳人口に対する要介護人数の割合は書いてありますが、人数はわかりますか。</p>
総合政策課長	<p>今回の実績値の14.6%ですが、65歳以上の人口ということで3万8,175人が全体の数値になります。今回の要介護者が5,568人になりますので、5,568人を3万8,175人で割って、概ね14.6%という数値を出しております。</p>
小池委員	<p>今回の資料を金曜日に頂戴したのですが、会議が月曜日にあるので、土日間に読めということなのかもしれませんが、お忙しい方もおられるので、資料は</p>

	<p>なるべく早めに送っていただきたい、これは要望します。</p> <p>施策番号2-3-3の「公園・緑地整備の推進」で、詳しいことは資料1の31ページにいろいろ書いてありますが、この中のハミングロード再整備事業については、予算等考慮して縮小しているとあります。ハミングロードというのは、できあがっているものだから公園緑地の面積の拡大には影響しないし、鉄道連隊のあった習志野市にとっては歴史上の財産ですから、縮小しているところがちょっと引っかかりました。いろいろバランスがあるのでしょうが、それなりにちゃんと手を入れなければならない、そうすべきものだと思うし、緑地面積の拡大につながる、つながらないに関係なく、しっかりやっていただきたいという思いがしました。</p>
総合政策課長	<p>まず初めに、資料の送付が大変遅くなりましたこととお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。</p> <p>ハミングロードにつきましては、習志野市の東習志野の市域境から、市の計画といたしましては、茜浜の先を超えて、海側の突端の先まで整備をするという形で計画をさせていただいております。その中で、海側のさらに先端の部分、こちらを緑地として整備をするという計画はあるのですが、こちらのほうの整備計画自体、進捗が多少予算等の都合で遅れております。またそちらにつきましては、斎場の建設等もございますので、その事業等も踏まえた共用で使えるような通路も整備するというところで考えておりますことから、事業が遅れている状況かと思えます。</p> <p>先ほど申し上げましたように、習志野市内の緑地自体は、面積としては伸びている状況ではございますけれども、今回、奏の杜等の大規模開発に伴いまして、人口自体が増えているということで、1人当たりの面積が減った状況でございます。</p>
廣田会長	<p>小池委員の発言は、ハミングロードの重要性を考慮していただきたいという話だったと思えますので、その点は記録に残していただければと思えます。</p> <p>時間の都合もございますので、質疑はこの程度にとどめさせていただきたいと思えますが、どうしてもという方はいらっしゃいますでしょうか。ないようでしたら、続きまして（2）習志野市まち・ひと・しごと創生総合戦略第1次アクションプランの進捗状況について、事務局からお願いいたします。</p>

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">報告事項(2) 習志野市まち・ひと・しごと創生総合戦略</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px auto; width: fit-content;">第1次アクションプランの進捗状況について</div>	
総合政策課長	<p>報告事項の2番、習志野市まち・ひと・しごと創生総合戦略第1次アクションプランの進捗状況について、御説明いたします。</p> <p style="text-align: center;">＜資料2-1、2-2に基づき、総合政策課長より説明＞</p>
廣田会長	<p>ただいまの報告について、委員の皆様から御意見、御質問等があればお願いいたします。</p>
清水委員	<p>資料2-2の3ページの一覧表の1番目の項目、「若者の定着・定住促進」の次の欄の③、④、⑤は、いかに大学生を市内に居住させるかという施策ですが、27年度の実績値が、アンケート調査を実施していないので実績値が評価できないという状況ですが、これは元々アンケートを実施する予定があつてしなかったのか、今後アンケートをとって実績値をちゃんと評価できるようにするのかについてお伺いしたいと思います。</p>
総合政策課長	<p>こちらにつきましては、学生に個別にアンケートを取ったものですが、担当といたしましては目標年度が31年度になっておりますので、目標年度に実施しようと考えている状況でございます。</p>
廣田会長	<p>目標年度まで4年ありますが、途中は行わないということによろしいですか。</p>
総合政策課長	<p>現状においては、目標年度に確認のために実施をすると聞いております。</p>
廣田会長	<p>そのほかいかがでしょうか。</p>
佐々木委員	<p>資料2の1の網掛けがしてある基本目標3の3番ですが、27年度は26年度の実績値の半分の3人ということで、半分になっています。目標値は8人なので、今後5年間で40人にするということで、年間8人ずついないと40人にならないと思うのですが、このままでは難しい中で、今年度から年度以降で、どのように変えていくか考えていますか。</p>
総合政策課長	<p>基本的には所管課といたしましては、この創業者数を増やすという取組事業自体は、全て順調に実施をさせていただいているとのことですが、結</p>

	<p>果として、事業者の創業者数が3名という状況だということでございます。</p> <p>1人は市内在住の創業者が、市外で創業している状況のため、実数としては4名と捉えられますが、こちらに上げさせていただいた捉え方ですと3名という状況になっております。担当としては、創業等につきましては、やはり経済情勢や、経営環境というのが非常に大きく影響するので、着々と本来やるべき支援施策等の実施に努めたいと回答を得ているところでございます。</p>
佐々木委員	<p>私もホームページ等で起業関係のいろんなことをやっているのはすごくよくわかりますが、後はそれを聞いた人が実際起業しようとしたときに習志野市でやっていただくというのが重要ではないですか。ですから、そのときに、少し何か起業しやすい支援ができることも考えていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
廣田会長	<p>ありがとうございます。そのほかに。鯨井委員。</p>
鯨井委員	<p>基本目標4の3自主防災組織の件ですが、目標値が65%ということで、これらの数値の根拠が何かあるのかということと、近隣と比べてこの65%というのがどういう位置づけになっているのかということ、あとは防災組織は、ただ、名前だけつくってそのままになっているのか、あるいは活動の中で具体的に把握しているかをお聞きします。</p>
廣田会長	<p>自主防災組織の実態ということよろしいですか。</p>
総合政策課長	<p>実態につきましては、担当課にヒアリングをしておりますので、この場ではお答えできません。申し訳ございません。</p>
廣田会長	<p>後日ということでもよろしくお願いします。そのほかいかがでしょうか。</p>
荒木委員	<p>一覧表の3ページ目ですが、イとエの「子育て世代の定住促進」と「魅力あるまちづくりと交流人口の増加の推進」のところで、それぞれ「子育て世代へ訴求する“習志野ブランド”の創出」とありますが、これはつまり習志野ブランドとは子育てに強い町ということで、習志野ブランドを発信していきたいという意味なのかというのが一つと、もう一つは、乳幼児専用プレーパーク、交流スペースというのが初めて出てきた言葉なので、どういうものを指しているのかお伺いしたいと思います。</p>
総合政策課長	<p>まず、習志野ブランドの創出ということにつきましては、市全体として習</p>

	<p>志野ブランドというもの、市内の魅力というものを創生していこうということで取組をさせていただいております。そうした中で、今回、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で位置づけさせていただいているのが、子育て世代や、若い方たちの流入といいますか、転入増をしようという位置づけをさせていただいておりますことから、当然に習志野ブランドの創出という形の中では、大きなメーンの目標の中にも子育て世代に魅力的な習志野ブランドをつくっていこうという位置づけをさせていただいているということでございます。</p>
企画政策係長	<p>乳幼児専用プレーパークの件ですが、こちらは31年までの計画ということで、まだ実際に動いてはませんが、小学生などの使うプレーパークというものは県内にもありますが、習志野市にはプレーパークがない状況にありますので、その中で乳幼児に特化したプレーパークができればということで、担当課が上げている事業でございます。</p>
荒木委員	<p>プレーパークというのは私がかかわっていたので、小学生向けは自然があってプレーリーダーがいて、例えばその中で自由に遊んでいいという、火起こしとかができたりするもので、何となくわかるのですが、乳幼児専用プレーパークというのがどういうものをもう少し具体的な説明が欲しいです。またプレーパークは大久保の公共施設再生の中では視野に入っていますが、評価項目に入っていないのですが、どのようになっているのでしょうか。</p>
政策経営部長	<p>プレーパークについてももう少し詳細にという趣旨の御質問だと思いますが、大久保の再生計画の中では今、御案内にあったように、小学生以上の部分のプレーパークについてはそれができるようにということで、事業者の募集要項の中に入れてございます。ここに書かれている乳幼児の部分のプレーパークというのは、実はまだ千葉県内でもやっているところはないと聞いています。千葉県内で1番になれば、それはそれで習志野ブランドとしてもいいと思っておりますが、これはまだ構想段階で、できれば大久保地区の再生計画の学齢児の部分と連動するような形で、乳幼児の部分例えばこどもセンターで行い、それを連続的に小学生の部分につなげていく。そのようなことも想定した中で、担当課とは具体的な案について考えているというところになります。ただ、事業の補助金が国からどのようにつくのかというところもしっかり見極めた上で、具体的な形にしていきたいということがございますので、まだ正式にこれが具現化をする、俎上に乗っているというところまで行っていません。</p>

荒木委員	今の話だと設置するところも想定されているということですか。
政策経営部長	こどもセンターです。
荒木委員	こどもセンターに乳幼児専用のプレーパークを設置しようと考えているんですか。
政策経営部長	今、こどもセンターについては、今年度中に新しいものに建てかえをしていきますので、1月くらいに新しい所はスタートすると思います。こどもセンターの新しい所での新しい事業として考えられればいいという想定で計画をしているということでございます。
荒木委員	ぜひ頑張ってください。
廣田会長	<p>荒木委員、アクションプランの73ページに概要が若干出ておまして、習志野市こどもセンターを活用するということと、28年度までの目標として交流スペースづくり等の手法を検討するという時期になっているようですので、御参照いただければと思います。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。それでは、質疑はこの程度に留めさせていただきます。</p> <p>続きまして、「(3) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)の実績評価」について、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">報告事項(3) 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金 (地方創生先行型)の実績評価について</p>
総合政策課長	<p>報告事項の3番、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)の実績評価について、御説明いたします。</p> <p style="text-align: center;">&lt;資料3に基づき総合政策課長より説明&gt;</p>
廣田会長	ただいまの報告について、委員の皆様から御意見、御質問等があればお願いいたします。
酒井委員	基礎交付というのとタイプⅡというものの違いと、例えば2番でいうと、幾つかの課がたくさん入っていて指標もたくさんありますが、それぞれの割



	合みたいなのがわかっていれば教えてください。
廣田会長	担当部署の違いのお話ですか。
酒井委員	はい。担当部署の違いと、基礎交付とタイプⅡの違いということをお話してください。
総合政策課長	<p>まず、補助金の関係の基礎交付とタイプⅡの差ですが、基礎交付は、それぞれ自治体の取組に関しまして基本的に交付される金額が、国から一番初めに交付決定された金額を使って実施をさせていただいた事業でございます。タイプⅡにつきましては、昨年の10月前に、いわゆる総合戦略を早期に策定したところに対して、割増しで交付対象ということで交付金が出るという位置づけで実施をさせていただいたものでございます。</p> <p>各課それぞれの分けが違うということですが、大きな区分けというのは、総合戦略に位置づけた項目の分けになっておりますので、それに合わせた形で各課の取組事業を位置づけさせていただいている状況になっております。</p>
廣田会長	事業の関係部署がこれだけ多岐にわたっているという理解でよろしいですか。
総合政策課長	おっしゃるとおりでございます。それぞれの項目につきまして、それぞれのたくさんの課がかかわって対応しているということでございます。
小池委員	2番の拠点形成・強化事業の指標5、袖ヶ浦団地の活性化について伺いたいと思います。私も袖ヶ浦の住人として、団地ではありませんが、施設の老朽化とか住民の高齢化とか衰退ぶりが非常によくわかります。それを活性化しようということではいろいろやってらっしゃる、それはわかるのですが、ではいつになったら何かなるのかという思いがしています。多摩ニュータウンは古くて大分老朽化していて、八王子、多摩、両市には大学がたくさんあり、少し袖ヶ浦団地と似通った状況ですがその多摩ニュータウンが、もう少しで学生が住み始める、いろいろ動き始めているという内容の番組を見たような記憶があります。それを思うと何か袖ヶ浦団地についてはいろいろ構想もあって動いてらっしゃるのはわかりますが、余りいつまで経っても変化がないし、どんな実際の進捗なのか伺いたいと思います。
総合政策課長	まず、袖ヶ浦団地につきましては、URの動向という形になりますが、U

	<p>Rの中では大規模改修という形の事業計画で、位置づけされているということでございます。これに伴いまして、私どももURとどういった手法でやっていくのかということは協議をさせていただいているところでございますけれども、URは全国的にも非常に多く団地を抱えているという形の中で、やはり空き家率が高いところから実際に率先して手を付けている状況となっています。袖ヶ浦団地につきましては、URからの情報によりますと、大体95%くらいの入居者がいるという状況の中で、どういう活用をしていくかということもURとしても検討をしているとのことです。</p> <p>そうした中の動きの一つとして、千葉工大の学生が、あそこのフィールドを使って地域の活性化等ができないかという取組がございまして、ここに私どもの資産管理課と千葉工大とUR、3者が協働してその取組、学生の学生寮的な使い方というものについて今検討させていただいて、それぞれフィールドワークという形で取り組んでいるという状況でございます。</p>
橋本委員	<p>千葉工業大学の橋本でございます。名前が出てきましたので発言させていただきます。袖ヶ浦団地の件につきましては、本学も学生と一緒にいろいろと活動が始まっているということは聞いているんですけども、学生が移り住んで居住するという話は実は初耳でございまして、大学側も了解しているのでしょうか。担当のレベルでしょうかね。書類にしっかりと書かれていますので、多分居住となると責任問題も出てくると思いますし、ちょっと確認だけさせていただきます。</p>
廣田会長	<p>私の知っている範囲ではそういう学生寮を含めて、千葉工大は検討を始めていると聞いております。</p>
小池委員	<p>もう1点、7番の発達支援評価事業、タイプⅡになっているものなんですけども、現状把握調査という基礎調査をやって浮き彫りになった問題をこれからやっていきますという記述になっているので、浮き彫りになった問題というのが幾つか具体的なものがあれば教えていただきたい。</p>
総合政策課長	<p>こちらの実績の報告については担当課から直接受けておりません。ただ、事業自体は関係者等に関係機関も含めて調査をさせていただいて、発達支援に関する問題について現状を確認させていただいて、その現状をもとに施策を展開していくということで担当課からは聞いております。</p>
小池委員	<p>前のページの拠点の形成・強化事業のところでもひまわり発達相談センターがあって、こちらは相談者数が大体目標値に達したということで予定どお</p>

<p>政策経営部長</p>	<p>り事業終了になっていますが、タイプⅡでもらったほうは継続になっていて問題点を検討していくということだったので、ちょっと整合性が微妙だなと思いました。</p> <p>これは事業の内容が異なっておりまして、表のページにつきましては、いわゆる検査器具ですとか遊具ですとか、そういったものを補助金で整備をさせていただいたという実績がありまして、それで効果については、ここに書かれている効果が認められると、こういうことをっております。裏のページにつきましては、今ロジックモデルという手法を使って習志野市の発達支援施策の方向性について障がいがあるなしにかかわらず皆、子どもたちが生き生きと暮らせる社会を目指すためにはどうしていけばいいかということをもとめておりますけれども、その中で、一つのアンケートを平成27年度に行っております。その中で、今申し上げましたような方向性に向けて、どういった部分を強化して施策を進めなければいけないかの協議をしているところでございます。実施している事業の内容が異なっていると御理解いただければと思います。</p>
<p>小池委員</p>	<p>わかりました。いずれにせよ、浮き彫りになった問題点だけはどこかで教えていただければと思います。</p>
<p>政策経営部長</p>	<p>それは整理をいたしまして御報告したいと思います。</p>
<p>廣田会長</p>	<p>時間の関係もありますので、次の議題に移らせていただきます。 続きまして、「(4) 習志野市前期第2次実施計画の策定」について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>企画政策係長</p>	<p style="text-align: center;"><b>報告事項(4) 習志野市前期第2次実施計画の策定について</b></p>
<p>企画政策係長</p>	<p>報告事項の4番、習志野市前期第2次実施計画の策定について、御説明いたします。</p> <p style="text-align: center;">＜資料4に基づき企画政策係長より説明＞</p>
<p>廣田会長</p>	<p>ありがとうございます。前期の第2次実施計画ということですので、概ね年度等の微調整が主だと思いますけれども、大きくは総合戦略がその中に組み込まれてくるという説明だったと思います。 御質問等ございましたら、挙手をお願いいたします。</p>

海寶委員	<p>第1次アクションプランの97ページに書いてある項目で、ナンバー140、公共施設再生計画推進事業というのがありますが、その中で事業概要がありまして、2行目から公共施設の再生への3つの前提、「総量圧縮」「機能と施設の分離」「質的向上」と3つ並んでいますが、このうちの真ん中、機能の集約というのはよくわかるのですが、施設の分離というのはどう解釈したらいいのかちょっとわからないのでお聞きします。</p>
廣田会長	<p>私からでよろしいですか。建築計画的なことでお答えしますと、もともと例えば公民館にあった会議室という機能、会議をするための機能が公民館にあったとしますと、それが公民館にはなくなるけれども、図書館に置きますよと。要は機能と施設名称を元あったところにこだわるのではなくて、いくつかの施設でその機能を満足すればいいだろうという考え方だと思います。</p>
海寶委員	<p>そういう意味ですね。機能の集約ということになりますかね。</p>
廣田会長	<p>1カ所に機能を集積するということとは別にしまして、施設名称にこだわらないで、その機能を何かの施設の中に入れ込めばいいだろうという考え方と捉えていいと思います。</p>
佐々木委員	<p>計画策定の趣旨のところには3つの目標というものが新しく掲げられると思いますが、前回のアクションプランと比べると目標が1つ減ったという解釈でよろしいでしょうか。</p>
総合政策課長	<p>こちらは実施計画でして、基本構想・基本計画に基づく目標になりますので、そのまま踏襲しているという形になります。アクションプランでは4つの目標を上げさせていただいておりますので、それとは違い、今回は実施計画ですので、基本構想・基本計画に基づく実施計画としては、この3つの目標はその上位の計画を全て踏襲した形で目標立てをしている形になります。</p>
佐々木委員	<p>前期の基本計画の中では変わりはないということですね。同じようにアクションプランに落とすときに前期のアクションプランは4つの目標があるじゃないですか、数値目標として。それも変わらないということですか。</p>
総合政策課長	<p>総合戦略自体は変わりませんので、総合戦略に基づくアクションプランとして、それぞれの目標に資する事業として何をやるかというくりは別に上げさせていただきます。現在、アクションプランに上がっているような形で</p>

	<p>上げさせていただくことを予定しております。</p> <p>海寶委員      アクションプランの99ページ、ナンバー141、UR都市機構と連携した市内大規模団地活性化事業の中で、袖ヶ浦団地は先ほどから名前が出ておりますが、27年度、28年度はこの延長線上にあるということは十分理解できるんですが、長期計画的にいきますと、10年、20年先を考えた場合、袖ヶ浦団地が実際に機能するかどうかということを考えますと、耐用年数はかなり経っているわけですね。施設の中のいろいろ中身の再生はできるでしょうが、大きな改造はできないと思います。やはり10年、20年の間には、部分的な改修というよりもむしろ、時代からいけば全面的な建てかえ、そして人口増を見込んだ新しい団地の構想というのが望ましいと市民の一人としては思っています。これはURとの関係もありますから、なかなかできないと思いますが、URとの会議の中で、ぜひひとつそういう面も念頭に置いて新しいまちづくりを考えていただくほうが長期計画的にはいいのではないかと思います。それは新しい人口増にもなりますし、新しい設備による新しい形のまちづくりにもなりますし、いろんな意味で変わってくるのではないかと思います。今5,000戸あると思いますけれども、これは随分変わると思いますので、ぜひそういう形で念頭に置いてURとのいろんな接点を持ってもらえたらありがたいと思います。これは希望でございますのでよろしくお願いします。</p>
<p>総合政策課長</p>	<p>ありがとうございます。おっしゃるとおり、やはり建物も昭和40年代につくられているというところで相当老朽化もしている中で、所有者自体はURですからURの意向というのは当然大きくかかわってきます。逆に私たちも今回こういったような大学の取組等を人口が減少していく社会の中にあっても、このエリアが魅力的なエリア、更にはURにとっても魅力的なエリアというような位置づけができれば、URもさらなる活性化ですとか戸数増というような方向性も出てくるのかなと考えておりますので、我々も行政という立場の中で、地域の活性化が先か施設が先かという部分はあるのですけれども、将来的にURとしても活用なり入居が見込めない地域に投資をするというのはなかなか難しいと思いますので、そういった魅力を、習志野の袖ヶ浦というところにつきましては、我々もしっかりと取組をさせていただいて、URと協議をさせていただきたいと考えております。</p>
<p>海寶委員</p>	<p>特別支援教育推進事業というのがあります。これは恐らく各小中学校に入れている特別支援学級の話だと思うのですが、袖ヶ浦団地の東小学校の敷地の一部に千葉県立特別支援学校があります。これは県の事業ですから市は関</p>

	<p>係ないといえないのですが、小学校の敷地の中に県内で初めてできた学校です。本来ならば、八千代特別支援学校の習志野分校ということでスタートするかと思っていたところを一応独立した支援学校として立ち上がった、これは大変ありがたいと思っているのですが、今は1年生から6年生までの小学部しかありません。これは御存知だと思いますけれども、かつて千葉県議会で習志野市の選出議員の佐藤議員が、ぜひ中学校まで延長してほしいという要望を出して、これは県からいろいろな状況を精査するという回答をしているのですが、習志野市内の小学校の中にあるものですから、この特別支援事業の中に、ある程度関連をもって取り進んでいただければありがたいと思いますので、これも要望的なこととなりますが、ぜひお願いしたいと思います。八千代特別支援学校、これが今小学校から高校まで一貫教育でやっており、習志野市からも何名かは高校に通っていると思います。とにかく遠いんですよ。せっかく市内に拠点ができたわけですから、個人的には小中高の一貫学校に進んでもらえれば、習志野市の特別支援教育に対する向上が非常に図られるのではないかと思いますので、その辺も含めて要望でございます。</p>
<p>廣田会長</p>	<p>御要望ということで記録にとどめさせていただければと思います。ありがとうございました。</p> <p>質疑はこの程度にとどめさせていただきたいと思います。</p> <p>最後に報告事項全体を通して御意見、御質問等があればいただきたいと思いますが。</p> <p>ないようですので、報告事項につきましては、終了とさせていただきます。</p>
<p>総合政策課長</p>	<p style="text-align: center;"><b>議題2 その他</b></p> <p>続きまして、議事の2. その他でございますが、委員の皆様または事務局から何かございますか。</p> <p>何点かお願いできればと思います。まず1点目ですけれども、先ほど交通安全教室の26年度が増しているという部分につきましては、本日中に確認できませんでしたので、後日報告書等の送付の際にお知らせできればと考えております。</p> <p>それともう1点、自主防災組織の組織率の目標値の65%は適正かということにつきましては、基本的には概ね近隣状況等も踏まえて、65%程度というのは適正な数値であるということでありまして、また、実態的に活動しているのかという御質問がございましたが、こちらにつきましては、毎年度末</p>

<p>廣田会長</p>	<p>に活動助成金というものを交付させていただく際に、どういった活動を実際にしたかという報告書の提出を義務づけておりました、その活動に対する助成金の交付を行っております。実際の活動についてはそのような形で確認をさせていただいていると担当課から回答がありましたので報告させていただきます。</p> <p>また、先ほど係長から御案内あったように、本年度はもう一度皆さんにお集まりいただいて審議会を開催させていただきたいと思っております。こちらの都合で大変恐縮ですが、来年の候補日を3日ほど上げさせていただいております、来年の2月3日（金）、2月10日（金）、2月14日（火）ということで、この3日を予定させていただいているところでございます。今後、各委員にそれぞれ御都合を再度お聞きさせていただいて皆様の御都合がよろしい日、その中で多くの方に御出席していただける日を選定させていただいて、次回の開催の日程とさせていただきます。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p> <p>それでは、本日の議題は滞りなく終了いたしました。</p> <p>御協力ありがとうございました。</p> <p>本日はこれにて閉会致します。</p> <p>委員の皆様におかれましては、長時間にわたり、ありがとうございました。</p> <p>閉 会 15 : 02 終了</p>
-------------	---